

## ■学習量増加キャンペーン実施中～ポイントは、3つの「ス」～

今週から学習時間調査が始まっています。4月に続き、第2回目の調査となりますが、前回実施した学習時間調査では、今後が非常に心配される結果でした。各学年の生活にも慣れ、また中間考査の反省を踏まえ日々の生活を軌道修正し、前回よりも質の高い学習習慣を確立することが期待されます。



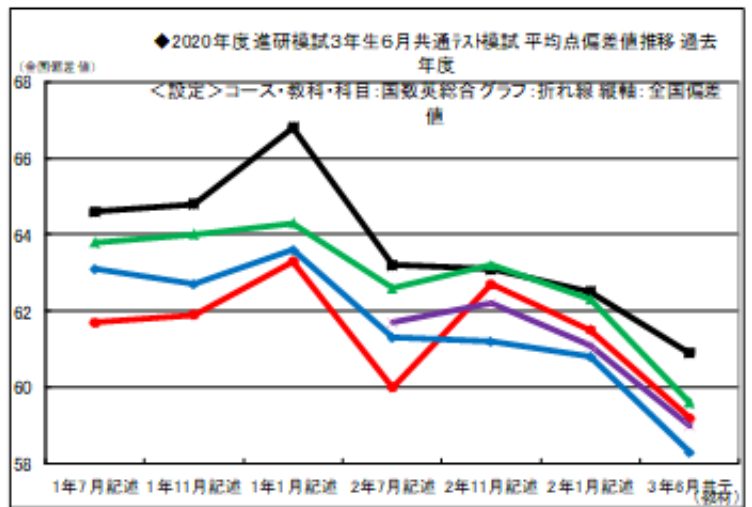
今回の調査のコンセプトは、ズバリ「切り替え」。学校挙げて「**学習量増加キャンペーン**」を実施したいと思いますので、是非クラスや部活の仲間で刺激しあって学習に取り組みましょう。本校の課題を踏まえた学習量増加のポイントは以下の3点です。

- ① **学習のスタート時間をしっかり定めて実行しよう**（時間の4点固定を）
- ② **スキマ時間を見つけて学習時間の上乗せをはかろう**
- ③ **スマホ時間にけじめをつけよう**（意識してスマホに触れない時間をつくろう）

1日1日にテーマと目標をもって過ごしていきましょう！

## ■これからの目標は、期末テストと校外模試

さて、皆さんの次の目標は2週間後に迫る大きな2つの試験（期末考査・校外模試）です。ほぼ連続の実施ですので計画的に準備をしましょう。まずは2つの試験の出題範囲を確認。共通する分野は期末対策がそのまま模試対策になりますね。模試のみの出題分野があれば、まず先に軽く復習しておきましょう（今日からやる！）。期末考査後に取り組む時間はありません。中間テストと比べ、科目数も多く試験期間も長いので早め早めの準備が大切になります。今回の学習時間調査からもう期末考査を意識して学習を進めたいものです。



校外模試は、各学年とも「**スタートが肝心**」です。右のグラフは過去5年間の学年別模試成績推移を表したのですが、最初の模試で好スタートをきった学年は、途中で多少の変動はあるにせよ、最終的には好位置をキープして受験本番に突入しています（偏差値が徐々に下降するのは母集団の変化によるものでこれはどの学校にも見られる変化です）。校外模試は「**先手必勝**」。各学年とも「**ロケットスタート**」目指して頑張りましょう。

## ■HLAB 進路座談会 MJ キャリアプラス

12日の放課後に、HLAB という団体（大学生スタッフを中心となりサマースクールなどを開催しています）の企画により HLAB 進路座談会が実施されました。運営を行っている学生スタッフ2名に来校していただいたほか、オンラインでも大学生に座談会に加わっていただき、サマースクールの体験報告やグループ別の情報交換を行いました。学年の垣根を超えて日ごろ感じていることや将来の展望などを語り合うという、新鮮な経験に多くの生徒が刺激を受けてきたようでした。



## ■共通テストの募集要項が発表されました

大学入試センターから、令和7年度大学入学共通テストの要項が発表され、試験日や時間割が提示されました。今年度の共通テストは1月18日(土)、19日(日)の2日間で実施され、その結果をもとに私大(共通テスト利用入試)や国公立大の出願先を決めていくこととなります。新課程の第1回目の実施となる今回は、国語や数学の試験時間に変更があったり、新教科「情報」が導入されたり、など変更点も多く、出願や受験科目の選択にあたっては注意が必要です。また、昨年度の日程より5日遅い時期での実施ですので、準備に余裕ができるように見えますが、国公立大の前期入試の日程は変わりませんので、共通テスト後からの準備期間が短くなるということは、出願先の判断に多くの時間がさけないということでもあります。

共通テストの出願は、現役高校生は学校単位で行います。9月1日に「受験案内」が学校に届きますので、現3年生は、2学期最初のLHRで出願説明会を行い、願書の作成に入ります。

試験日	出題教科	出題科目	試験時間
第1日	地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『地理総合/歴史総合/公共』(注1) 『旧世界史A』『旧世界史B』 『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理、旧政治・経済』	2科目選択 9:30~11:40(注2) 1科目選択 10:40~11:40
	国語	『国語』	13:00~14:30
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	『英語』【リーディング】 『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』 【筆記】 15:20~16:40 『英語』【リスニング】 17:20~18:20(注3)
第2日	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注1) 『物理』『化学』『生物』『地学』	2科目選択 9:30~11:40(注2) 1科目選択 10:40~11:40
	数学①	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 『旧数学Ⅰ・旧数学A』『旧数学Ⅰ』	13:00~14:10
	数学②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧数学Ⅱ』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』	15:00~16:10
	情報	『情報Ⅰ』『旧情報』	17:00~18:00

## ■「大学入試を知る」(第4回：自分の到達度を知る指標について、知っておこう2)

### GTZとは?

ベネッセコーポレーションが行う校外模試では、偏差値のほかに、GTZと呼ばれる指標が用いられます。「GTZ」とは「学力到達ゾーン」の略(まさか日本語だったなんて!!)で、受験時の学力到達度をゾーン別に分類されたものです。母集団や出題範囲が回ごとに異なる模試において、統一的な指標として利用されています。GTZごとに、目安となる大学が設定されていますので、志望校合格のために各教科でどのレベルに届けばよいのかを意識して学習に励むとよいでしょう。偏差値やGTZに徒に振り回される必要はありませんが、常に自分の立ち位置と、目標までの距離感を明確にしておくことは、学習プランを立てる意味でも、非常に大切だと思います。前回受けた模試(スタサポ)での自分のGTZをまず確認し、次回の模試での目標ゾーンを考えてみましょう。

GTZ	偏差値	目安となるレベル	主な国公立大	主な私立大
S 1	78.0~	東大・医学科合格レベル	東京・一橋・京都	慶応・早稲田
S 2	73.0~	難関大合格レベル	東京工業・大阪	
S 3	69.0~	難関大合格レベル	東北・名古屋・神戸・九州	青山・上智・明治・立教・東京理・同志社
A 1	65.0~	難関大挑戦レベル	北海道・筑波・千葉・お茶の水・横浜国立	学習院・中央・法政・立命館
A 2	61.0~	国公立・中堅私大合格レベル	新潟・金沢・東京都立	文教・国学院・駒沢・芝浦工・専修
A 3	58.0~	国公立・中堅私大合格レベル	茨城・宇都宮・群馬・高崎経・埼玉	北里・順天堂・東洋・日本・神奈川
B 1	54.0~	国公立・中堅私大挑戦レベル	長岡技・前橋工・群馬健・群馬女	帝京・東海・日本体育
B 2	50.0~	国公立・中堅私大挑戦レベル	釧路公立・長岡造形・名桜	高崎健康福祉・群馬医療福祉・群馬パース
B 3	46.0~	4年制大挑戦レベル		上武・埼玉工・日本工
C 1	43.0~	4年制大挑戦レベル		
C 2	41.0~	4年制大挑戦レベル		
C 3	39.0~	実力養成レベル		
D 1	37.0~	基礎力養成レベル		
D 2	35.0~	基礎力養成レベル		
D 3		基礎・基本養成レベル		